

ねこのもめ事

むかし むかし ずうんとむかし
ある ぐわんぐわん大きな山に
ずがんと大きな猫のゴン介がいました。
「俺が一番強いんだ！」

ゴン介は 犬の主を追いかけて 追いかけられ
二匹の決着はつかずへとへとに。
そこへ桃が ゴロリンゴロン ゴロリンゴロン
と転がって来ます。

それを見ていた猿が めわめわ笑いながら 現れて・・・
言葉の音が楽しい昔語り。



びんぼう神

村はずれの小さな家に びんぼう神様が住んでおりました。
ある日、米吉という青年がこの家に住むことになりました。
「家神さま いつもありがとうございます」
「なんと？感謝じゃと？」
普段は陽気なびんぼう神様も普段と違う展開に戸惑うばかり。
「なんだか、心が温かくなってきた。」
わしや、感謝なんてされたのは初めてじゃ」
びんぼう神は、嬉しくて思いを込めて「わらぞうり」を編み
米吉に贈りました。そして迎えた大晦日の夜・・・
互いを思いやる気持ちが心温まるお話です。

脚本・演出 長島宏
作曲 中島千智
舞台装置 ジャンクランド 劇団さんぼ
出演 西雅子 篠原弘一 内田みなみ
制作 藤井美幸

